

「高知市こども計画（仮称）」策定に向けた こども（小・中・高）アンケート調査結果概要（速報版）

令和7年11月

1. 調査概要と回答者の傾向

項目	詳細
対象者	高知市内の小・中・高等学校に通学する児童・生徒（小学5年生～高校2年生）
実施期間	令和7年10月27日～11月14日（Webアンケート）
実施方法	若者アンケートと規模をそろえるため、地域や学校種別の偏りがないよう対象校を抽出し、校長を通じて依頼した。
有効回答数	3,381件（小学生968件、中学生1,177件、高校生1,236件）
学年等	小5:14.4%、小6:14.3%、中1:14.8%、中2:13.7%、中3:6.3%、高1:21.7%、高2:14.9%。男女割合:46.4% : 51.5%（答えたくないが2.1%）
住所	（高校生のみ）高知市内は 65.1%

2. こどもの「幸福度」と「悩み」「孤独感」

こどもたちは現在の生活に高い満足度を持ち、幸せを感じている一方で、悩みを抱えている。

(1) 現在の満足度（安定した人間関係）

幸福・満足度	割合	愛されているか・話を聞いてもらえるか	割合
「今、幸せだと思う」 問4	92.7%	周りの人に話を聴いてもらえるか 問10	96.8%
「今の自分が好きだ」 問5	72.1%	周りの人から大切にされているか 問11	88.7%
「今の暮らしに満足している」 問6	85.3%		

(2) 悩みや孤独感（潜在的な不安）

- 多くのこどもが悩みを抱えている。
問7 ①②③:
 - 小学生の「特にない」が42.8%⇒ 約6割（57.2%）が何か悩みを抱えている。
「勉強」が36.9%でトップ、「友達のこと」16.5%、「自分の顔や体のこと」16.3%と続く。
 - 中学生の「特にない」は22.9%⇒ 約8割（77.1%）が何か悩みを抱えている。
「勉強」64.7%、「進路」37.6%、「友達のこと」20.4%、「自分の顔や体のこと」18.5%
 - 高校生の「特にない」は14.8%⇒ 85.2%が何か悩みを抱えている。
「勉強」69.4%、「進路」54.9%、「自分の顔や体のこと」23.2%、「お金のこと」20.1%
- 孤独感:
 - 21.5%のこどもが「自分が孤独だと感じることはある」と回答。
問9
 - 悩みや不安を感じたときに相談する相手は「友達」（61.7%）「親」（60.4%）。
一方で、話をする人はいないが12.8%。
問8

3. 子どもの権利について 問12

子どもの権利については認知度の低さが確認できた。若者と同様、周知・啓発が課題。

権利	知っているかどうか
生命、生存及び発達に対する権利	知っている児童・生徒が 63.1%
子どもの最善の利益	知っている児童・生徒が 24.2%
子どもの意見の尊重	知っている児童・生徒が 40.3%
差別の禁止	知っている児童・生徒が 52.1%
知っているものはない	24.2%

4. ヤングケアラーについて 問13 問14

27.9%の児童・生徒が家族のお世話を日常的にしていると回答。ただそのうち80.8%が「お世話のためにやりたいけどできていないことはない」と回答。実質的には、この分を除外した児童・生徒がヤングケアラーに相当すると推測される。（全体の割合にすると5.5%）

5. 子どもの「行政参加」について 問15

高知市の市長や担当者に考え方や意見を伝えたい児童・生徒は5.9%と行政への参加意欲は低い。

- なお希望する意見提出方法は以下のとおり: 問17

- 1位：アンケート (59.2%)
- 2位：LINEやSNSで伝える (41.2%)

- 自由意見（抜粋） 問16

- (小学生) 学校に行きたくないと思っている人にもっと目を向けてほしい
- (中学生) 企業の魅力や情報をまとめたパンフレットや警察・消防の採用に関する情報が記載されているものを作成して配ってほしい
- (高校生) シングルマザーやお金のない家庭を支援してほしい
一つの学校につき、一つ何か要望を言えるようにしてほしい

6. 住んでいるまち（高知市）のこと

(1) 高知市が好きかどうか、どんなところが好きか・こうだったらいいと思うところ 問18～問20

- 91.9%の児童・生徒が「好き」と回答。
「山や川など自然がたくさんあるところ」が理由の1位 (73.3%)。2位は「地域のお祭りやイベントがあるところ」の48.8%。
- 「こうだったらいいのに」と思うところは「屋内で遊べるところを増やしてほしい」が49.5%、次いで「買い物や食事ができるお店を増やしてほしい」が48.3%。3位「まちや建物をきれいにしてほしい」33.9%、4位「山や川など自然を残してほしい」33.7%と続く。

(2) 大人になっても高知市に住みたいかどうか 問21

(1) 高知市が「好き」と答えた児童・生徒が多かった (91.9%) 一方で、大人になっても高知市に「住みたい」と回答した児童・生徒は48.3%にとどまり、「住みたくない」が26.4%、「分からない」が25.3%であった。「住みたくない」理由の掘り下げや年齢別等、さらなる分析が必要。

7. 自分の進路や生き方、将来の仕事について

中学生・高校生のみ。

(1) 自分の将来や生き方について 問22 問23

約3割～4割の生徒が将来について考えていないことが分かった。自分の適正についての理解を深めるとともに、具体的な職業などが学べるキャリア教育に取り組む必要がある。

どれくらい考えているか	割合	将来や生き方について何を学びたいか	割合
「具体的に考えている」	12.7%	1位：職業の種類や仕事の内容	55.3%
「ある程度考えている」	49.9%	2位：自分の個性や適性	53.5%
「あまり考えていない・考えていない」	37.5%	3位：社会人としての常識やマナー	48.0%
		4位：進路選択の方法や情報収集	42.5%

(2) 将来の夢（仕事）と高知市での実現性 問24 問25

7割を超える生徒が具体的な夢がある一方で、半数以上がその将来の夢について高知市で叶えられるというイメージを持っていない。

将来の仕事（夢）	割合	その夢は高知市で叶えられそうか	割合
人の健康や命にかかわる仕事 （医者、看護師等）	17.5%	「はい」	33.0%
会社で働く仕事 （会社員、銀行員等）	16.2%	「いいえ」	15.6%
先生や教育に関わる仕事 （学校の先生、保育士等）	15.3%	「わからない」	51.4%
絵や音楽、デザインに関わる仕事 （デザイナー、イラストレーター等）	15.0%		
まだ決まっていない／わからない	28.6%		

8. 総括と高知市こども計画（仮称）の施策検討に向けて

高知市こどもは、若者同様、幸福度や自己肯定感を持つ一方で、孤独を感じたり、勉強や進路のことなどで多くの悩みを抱えている。

悩みについて気軽に相談できる仕組みの構築とともに、進路や将来のことについて優先的に検討することが求められる。また市外流出を抑えるためには、「高知市で」夢が叶えられるという具体的なイメージが重要。

⇒ 高知市こども計画（仮称）の施策検討につなげる。